

### 3. 基礎情報の収集及び現状分析

エネルギービジョンの策定に当たり、まず、本市の基礎情報を自然的・経済的・社会的条件に分けて整理する。

#### 3. 1 自然的条件

##### (1) 地勢概要

本市は茨城県の北東端に位置し、県庁所在地の水戸市までは約 50km、東京までは約 180km の距離にある。本市の総面積は 186.80 ㎡であり、そのうちの約 80%を山林と原野が占める自然が多く残された地域である。阿武隈高地南端に位置する多賀山地が海岸まで迫り、平坦な土地が少ないのが特徴であるが、多賀山地を水源とする里根川、花園川、大北川、塩田川は東流して太平洋に注ぎ、流域には肥沃な平坦地が開けている。

##### (2) 気象

1991 年から 2020 年の年間平均気温は 13.2 度、平均年間降水量は 1,435.4mm であり、夏期は多雨多湿、冬季には小雨乾燥の太平洋側気候である。

##### (3) 植生

本市内で自然環境保全地域として指定されているのは、西明寺周辺一帯の一か所である。本地域内では植林されたスギ林が多く、一部にシラカシ、ウラジロガシ等のカシ類の混交林がみられ、暖帯林的な様相を残し、その林床には暖帯性のシダ植物が育成している。また、緑地環境保全地域として指定されているのは八幡神社周辺一帯と愛宕神社周辺一帯の 2 か所である。八幡神社周辺一帯はスダジイ、アカガシ等の常緑樹林であり、ベニシダ、オオバノイノモトソウ等の暖地性シダ植物が群落となって育成している。愛宕神社周辺一帯はスダジイ、アカガシ等の常緑樹林であり林内にはシキミ、コアジサイ、コウヤボウキ（キク科）が育成している。



図 11 西明寺周辺一帯

(出典) 茨城県ホームページ「環境保全地域の制度」

### 3. 2 経済的条件

#### (1) 事業所、就業者数の状況

内閣府が提供する地域経済分析システム（RESAS）によると本市内の企業数は2016年時点で1,295社である。2009年から2012年にかけては東日本大震災による社会情勢の大きな変化があり、事業所数・従業員数ともに減少した。2016年時点で事業所数は1,658であり、就業者数は17,044人である。

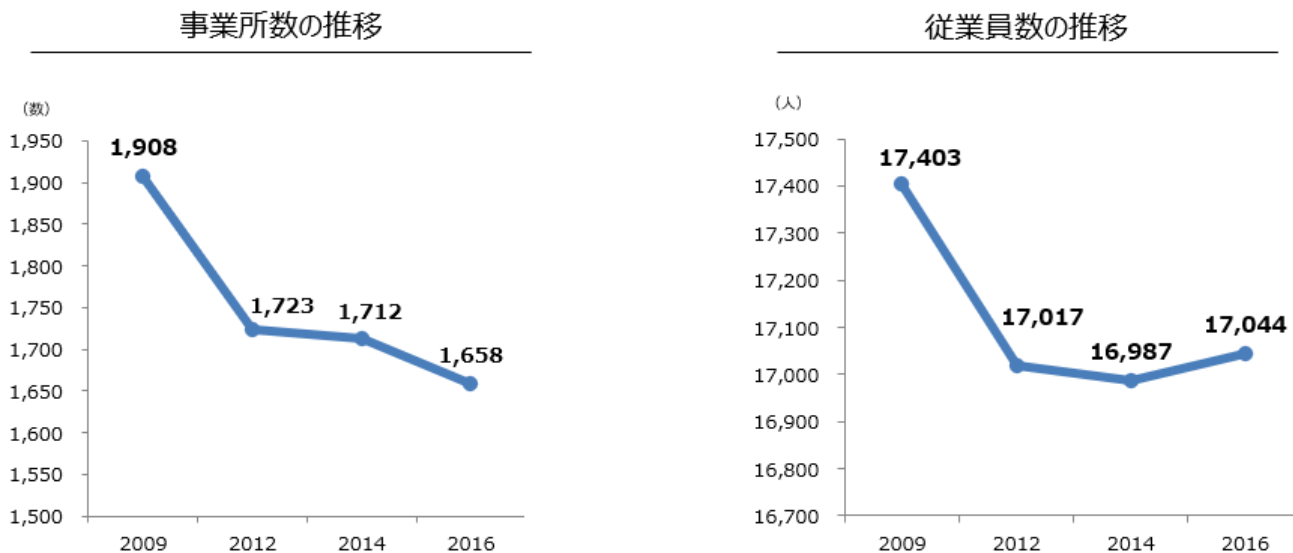


図 12 事業所・従業員数の推移

(出典) RESAS より加工

#### (2) 農業

本市の農業産出額は2021年時点で178千万円であり、肉用牛が112千万円と6割を占める。農業経営体数は減少傾向にあり、2005年と比較して2020年は40%以上減少した。2020年時点では653者である。

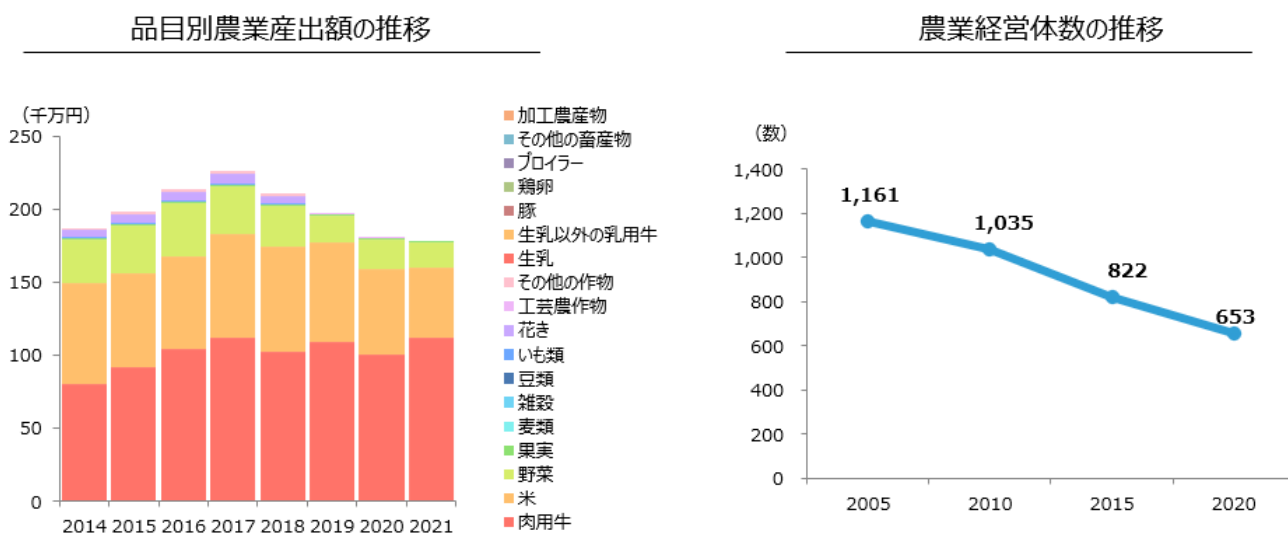


図 13 品目別農業産出額・農業経営体数の推移

(出典) RESAS より加工

### (3) 商業

本市内の商業は従業員数および年間商品販売額ともに減少傾向にある。従業員および年間商品販売額は1999年と比較して2014年には35%減少した。売場面積は大型店舗の出店・撤退の影響を受けるため一定の傾向にはない。

従業員・売場面積・年間商品販売額の推移

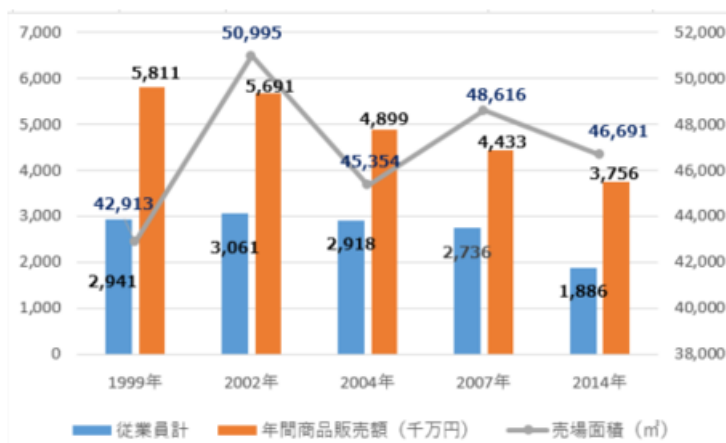


図 14 従業員・売場面積・年間商品販売額の推移

(出典) RESAS より加工

### (4) 工業

本市内の工業において事業者数は減少傾向にあり、製造品出荷額は概ね増加傾向にある。従業員はほぼ6,500人で推移している。事業者数は1999年と比較して2016年には60%減少した。製造品出荷額は概ね増加傾向にあり、2016年時点では23,349千万円である。

従業員・製造品出荷額・事業所数の推移

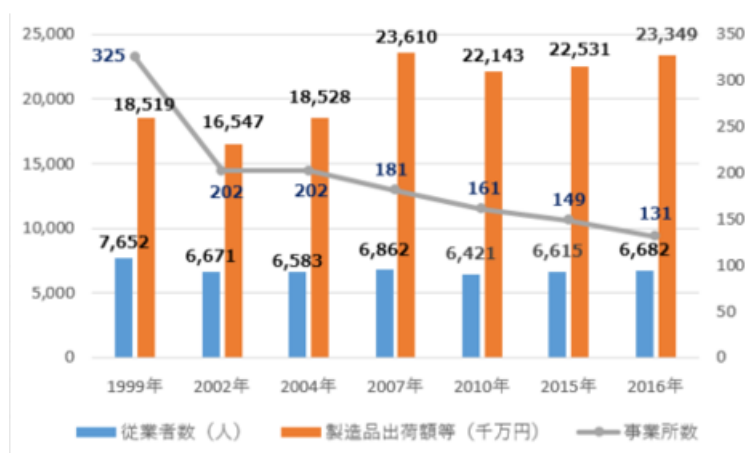


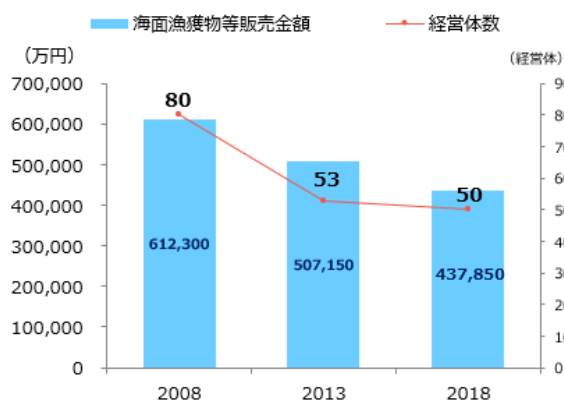
図 15 従業員・製造品出荷額・事業所数の推移

(出典) RESAS より加工

(5) 水産業

本市内の海面漁獲物等販売金額は2018年時点で437,850万円である。海面漁獲物等販売金額および経営体数は減少傾向にある。2008年と比較して、2018年の海面漁獲物等販売金額は約30%減少し、経営体は約30減少した。

海面漁業の推移



経営体あたり漁獲物等販売金額の推移

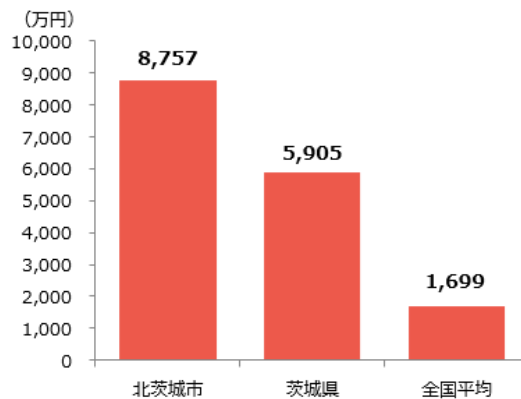


図 16 海面漁業・経営体あたり漁獲物等販売金額の推移

(出典) RESAS より加工

環境省の地域経済循環分析の結果によれば、本市においてはエネルギー代金として約630億円が域外に流出していることが確認される。地域内の再生可能エネルギーを地域内で有効利用すること等ができれば、域外に流出しているエネルギー代金を地域内で循環させることができ、地球温暖化対策に貢献できるだけでなく、地域経済の活性化にも貢献できる可能性のあることが示唆される。

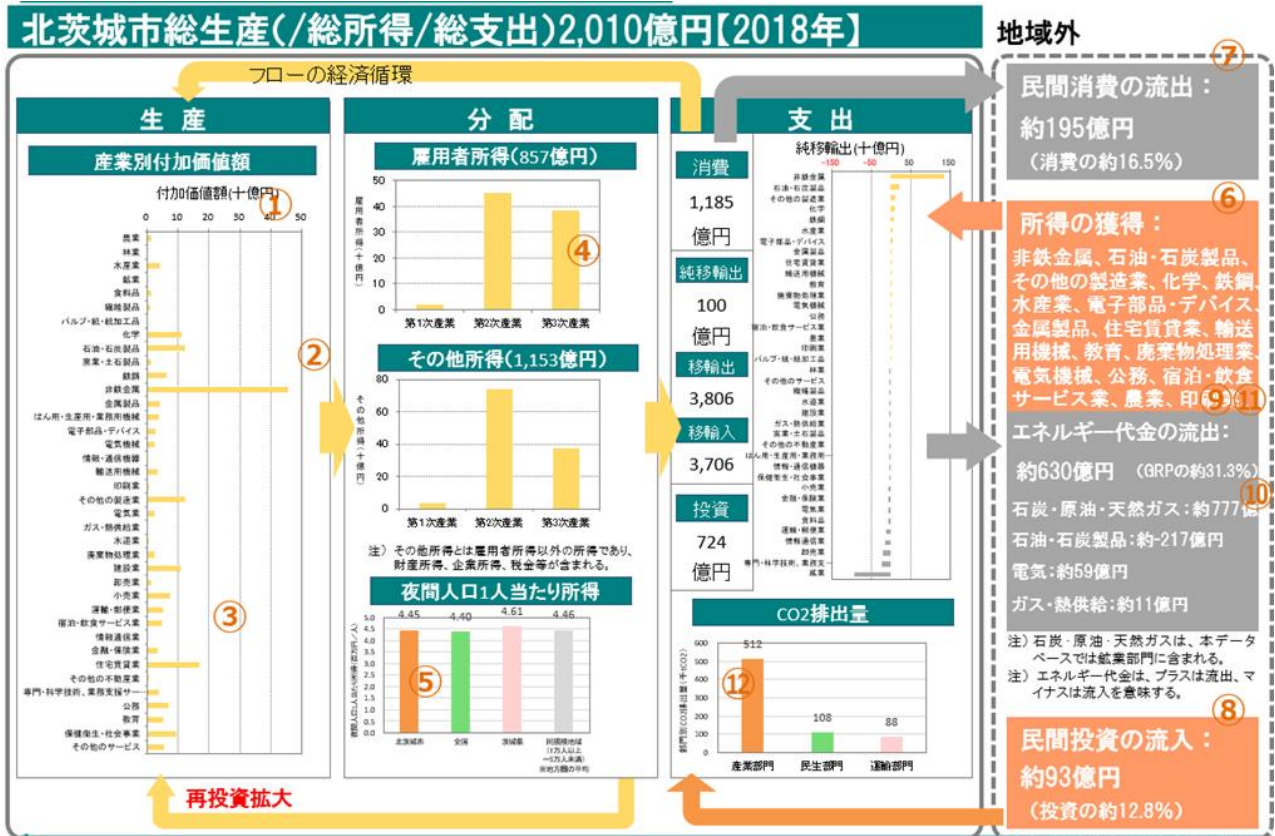


図 17 本市の地域経済循環分析結果  
(出典) 環境省「地域循環経済分析ツール Ver.5」

### 3. 3 社会的条件

#### (1) 人口

本市の人口は2020年時点で41,801人であるが、少子高齢化の傾向は顕著で将来的に減少すると推測されている。具体的には、2030年には35,000人余りにまで減少し、2045年には25,000人余りにまで減少する見通しとなっている。なお、2045年において男性で最も人口が多い世代は「70～74歳」、女性で人口の多い世代は「70歳～84歳、90歳以上」と推測されている。

これまでの人口の推移と将来推計

人口ピラミッド

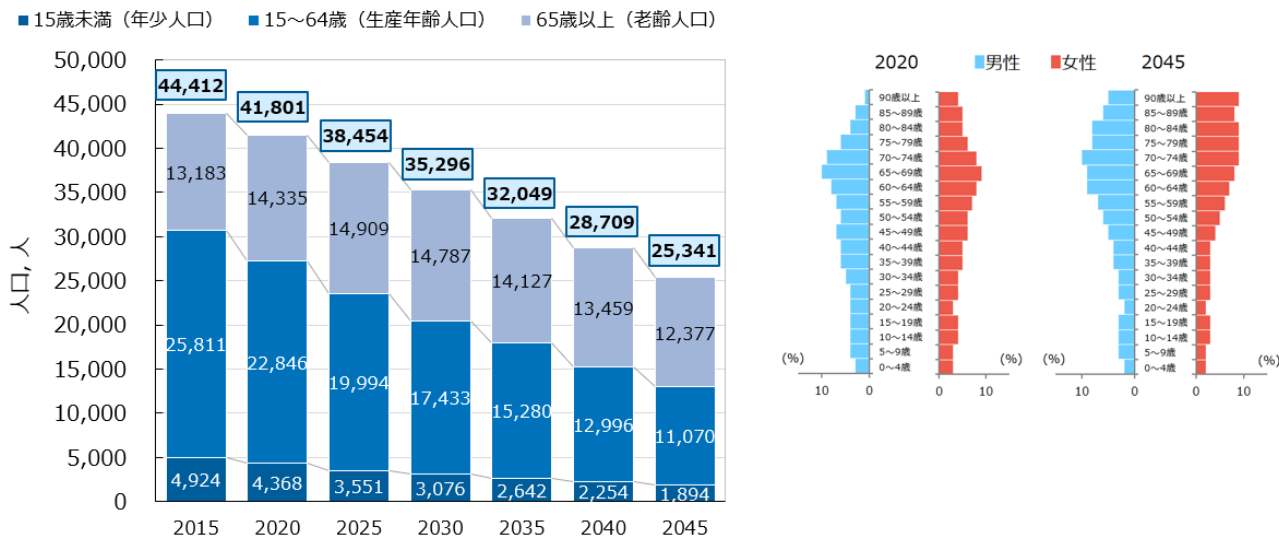


図 18 これまでの人口の推移と将来推計および人口ピラミッド

(出典) 本市ホームページ「北茨城市町丁字別人口及び世帯数」、国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」より加工

#### (2) 土地利用

本市では自然と都市のバランスがとれた土地利用が実現されている。大津港駅や磯原駅周辺と国道6号及び新・陸前浜街道沿道の商業・業務系土地利用や、工業を中心とした産業系土地利用、国・県道に沿って広がる住宅系土地利用等の都市的土地利用が一体的に配置され、その周辺に農地や河川等の自然的土地利用が配置されている。


#### (3) 地域交通

本市内の交通としては、鉄道、市内循環バス、路線バス、高速バスがある。JR常磐線は3駅設置されており、本市内の通勤通学の拠点、本市を訪れる観光客の拠点としての役割を担っている。市内循環バスは2003年から本格運行を実施しており、市民の生活に根付いている。

#### (4) 文化財・景観

本市内の文化財は14件が国および茨城県に指定されている。

表 2 本市における文化財の一覧

区分	国指定	県指定
有形文化財	<ul style="list-style-type: none"> <li>茨城大学五浦美術文化研究所 岡倉天心旧居(研究室)</li> <li>茨城大学五浦美術文化研究所 長屋門(管理舎・陳列館)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>木造 増長天立像</li> <li>木造 持国天立像</li> <li>神岡上古墳群第 3 号墳出土遺物</li> <li>木造 千手観音立像及二天立像 附 板光背残欠 3 軀 附 板光背残欠 1 枚</li> </ul>
無形民俗文化財	<ul style="list-style-type: none"> <li>常陸大津の御船祭</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大津の盆船流し</li> </ul>
記念物	<ul style="list-style-type: none"> <li>岡倉天心旧宅・庭園及び大五浦・小五浦</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>花園山シャクナゲ群落</li> <li>花園の大スギ</li> <li>花園のコウヤマキ</li> <li>花園溪谷 「七ツ滝」</li> <li>野口雨情生家</li> </ul>
記録作成等の措置を講ずべき無形・民俗文化財	<ul style="list-style-type: none"> <li>常陸大津の御船祭</li> </ul> 	

(出典) 北茨城市観光協会 「国指定無形民俗文化財 常陸大津の御船祭」

本市の景観は地形や歴史、観光資源等が絡み合いながら形成されている。

景観特性について

- 自然的な景観特性**
  - 貴市の東側は太平洋に接し、西側は阿武隈高地の一部であるため、標高 0 m から約 880m と地形変化に富んでいるところが特徴。
  - 奥久慈、花園・花貫、太田、高鈴の 4 つの県立自然公園が指定されているほか、山間部から里地・市街地、海岸部に向けて豊かな緑地資源に恵まれている。
- 歴史・文化的な景観特性**
  - 神社やお寺、文化的価値の高い建造物などは、地域に残された貴重な宝となっており、古くから伝わる祭礼や近年地域に定着したお祭りなども、人々の生業と一体となって地域の個性を表す要素になっている。
  - 海と山の両方の自然の恵みを受容する料理店が市内に点在し、豊かな自然景観を背景とした風土を料理や店構えに写している。
- 生活・商業的な景観特性**
  - 駅前商店街等の市街地の景観や磯原地区、中郷地区などの面的に整備された工業地の産業の景観、港町・漁港は加工や倉庫などの施設が立地する水産業の拠点としての景観や、食堂や旅館、小さな家屋が密集して立ち並ぶ昔ながらの漁港地としての景観もみられる。
- 眺望的な景観特性**
  - 山と海の両方を持つ貴市の高低差を生かした眺望の良い視点場が貴市内に多くあり、市民や観光客が多く訪れている。
  - 駅前や観光ルート沿いにランドマークとなる施設や特徴的な自然景観がポイントごとに立地している。



図 19 本市における景観特性について

(出典) 北茨城市「第 5 次北茨城市総合計画」、「北茨城市都市計画マスタープラン」